

Title	「ツタヤ図書館」の「こどもとしょかん」機能の検証
Author	川瀬, 綾子 / 森, 美由紀 / 北, 克一
Citation	情報学. 13 卷 1 号, p.93-105.
Issue Date	2016
ISSN	1349-4511
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	Publisher
Publisher	大阪市立大学創造都市研究科情報学専攻
Description	
DOI	

Placed on: Osaka City University

「ツタヤ図書館」の「こどもとしゃかん」機能の検証

Evaluation of “TSUTAYA Library” Websites for Children

川瀬綾子[†] 森美由紀^{††} 北克一^{†††}

KAWASE Ayako[†] MORI Miyuki^{††} KITA Katsuichi^{†††}

要旨：TSUTAYAを運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社が公立図書館の運営を担い3年が経過しようとしている。2016年3月21日に第三の「ツタヤ図書館」となる多賀城市立図書館が開館した。本稿では、先立つ武雄市図書館及び海老名市立図書館と多賀城市立図書館の「こどもとしゃかん」機能を比較し、ユーザビリティを検証する。

キーワード：カルチュア・コンビニエンス・クラブ、ツタヤ図書館、武雄市図書館、海老名市立図書館、多賀城市立図書館、OPAC、児童サービス、ユーザビリティ

Keywords : Culture Convenience Club Co.Ltd., TSUTAYA Library, Takeo City Library, Ebina City Library, Tagajyo City Library, OPAC, Child Services, Usability

1. はじめに 本研究について

TSUTAYA を運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（増田宗昭代表取締役社長兼 CEO；非上場；以下、CCC）が公立図書館の運営を担い3年が経過しようとしている¹。

2013年4月の佐賀県武雄市の武雄市図書館を皮切りに、2015年10月に神奈川県海老名市の海老名市立中央図書館が「ツタヤ図書館」としてリニューアルオープンしている。また、宮城県多賀城市の多賀城市立図書館は駅前に移転し、第三の「ツタヤ図書館」として2016年3月21日に開館した²。さらに、「ツタヤ図書館」の開館準備中、導入検討中のところには、岡山県高梁市、山口県周南市などがある³。なお、武雄市図書館や海老名市立中央図書館、多賀城市立図書館等のいわゆる「ツタヤ図書館」は、CCC内部の「CCCデザインカンパニー」で運営している⁴。

我々は先行研究として、武雄市立図書館と海老名市立図書館の「こどもとしゃかん」検索システムにおけるジャンル(カテゴリー)設定を手掛かりに、「ツタヤ図書館」の資料区分の検証を行った⁵。

また、近畿2府4県の公立図書館のこども図書館機能の調査を行い、ユーザビリティに問題があることを検証した⁶。

本稿では、武雄市図書館⁷、海老名市立図書館⁸及び多賀城市立図書館⁹の「こどもとしゃかん」機能を比較し、ユーザビリティを中心に検証する¹⁰。

2. 武雄市図書館のこども図書館機能

武雄市図書館では、子ども用ウェブサイトの名称を「こどもとしゃかん」としている。図1は、武雄市図書館のトップ画面である。上部のバナーに「こどもとしゃかん」の表記と、中央右下に絵コンテとともに「こどもとしゃかん」のアイコンがある。絵コンテがあることで子どもにとっても分かりやすいと思われる。

[†]京都精華大学

^{††}立命館大学等

^{†††}相愛大学

図1 武雄市図書館トップ画面



次に、「こどもとしゃかん」の中身を見ていく。

図2は、武雄市図書館「こどもとしゃかん」のトップ画面である¹¹⁾。絵コンテとともに「おしらせ」、「としゃかんのつかいかた」、「あたらしい」、「にんき」、「さがす」の5つのメニューがある。

図2 武雄市図書館「こどもとしゃかん」のトップ画面



「おしらせ」は利用者への図書館からの広報、「としゃかんのつかいかた」は児童向けの利用案内である。「あたらしい」は新着図書案内で、ここで紹介された個々の資料をクリックすると、当該資料の書誌詳細表示と所蔵情報、予約情報を表示できる。「にんき」はジャンル「児童書」において、貸出上位の図書を紹介している。「さがす」は図書館資料の検索システムである。以下にそれぞれの項目について詳述する。

メニュー「お知らせ」をクリックすると、図書館で行われるイベントの案内が表示される。

イベントの日時、タイトルが掲載された画面は、イベントの案内文の途中までが表示されている。イベントの日時、タイトル部分をクリックすると、イベントの内容が最後まで読める。

今回調査した2016年3月27日に表示されていたイベント「キッズバリスタ講座」は小学校1年生～4年生までを対象としているが、振り仮名は付与されていなかった。

また、参加費についての記述はなかった。図書館でのイベントはデフォルトとして無料ということであろうが、次項で検証する海老名市立図書館でも同様のイベントを行っているが、そちらには「むりょう」と書かれていた。武雄市図書館でも参加費の有無を記述する方が利用者にとっても分かりやすいと思われる。

メニュー「としゃかんのつかいかた」では、「1. としゃかんがあいているじかん」、「2. はじめてほんをかりる（りようカードをつくる）」、「3. ほんをかりる」、「4. ほんをかえす」、「5. ほんがないとき（よやくする）」、「6. ほんをコピーする」、「7. インターネットをつかう」、「8. みんなでまもろう」の計8つの項目を設けている。

極力漢字を使用せず、漢字を使用する際には括弧で振り仮名を付与している。この配慮は大いに評価が出来よう。

「2. はじめてほんをかりる（りようカードをつくる）」では、12歳以下の子ども

が利用カードを作る際には、保護者への同意書が必要となるため、保護者用への案内も表記されている。「3. ほんをかりる」では、「セルフカウンター」について「じどうでほんをかりられるきかい」と説明書きを付与している。また、「4. ほんをかえす」の「へんきゃくカウンター」にも「ほんをかえすところ」と説明書きを加えている。また、図書館が閉まっている際にはどのように返却するのか、返却ポストの使い方も記述されている。「5. ほんがないとき（よやくする）」では、「よやく」を「こんどかりるやくそく」と子ども目線での説明書きを加えている。

武雄市図書館では、AV 資料の貸出も可能であるが、AV 資料の貸出については「としょかんのつかいかた」には書かれていない。CD や DVD 等の借り方や貸出可能枚数、返却方法についても書いておくべきである。

メニュー「あたらしい」をクリックすると、新着図書案内が「タイトル」、「ちょしゃ」、「ジャンル」とともに表示（簡易表示）される。タイトル部分をクリックすると、書誌詳細表示へ移動し、振り仮名付きで「資料詳細（ほんについて）」と表示される。書誌詳細表示では、本の絵の横にタイトルが表示される。「著者」、「出版年」、「児童内容紹介」、「ジャンル」の項目のもとに資料について確認することができる。

簡易表示では漢字を使用していなかったが、詳細表示になると、各項目名が漢字になり、振り仮名が付与されない。なお、使用する文言は「タイトル」よりも「ほんのなまえ」に、「ちょしゃ」よりも「ほんをかいたひと」とする方が分かりやすいのではないだろうか。改善を要する。

また、所蔵状況は、振り仮名付きで「所蔵」（ほんがある場所）と表記し、1冊所蔵があり、1件予約が入っている場合には、「1さつみつかりました。このほんは、いま1にんが予約しています。」と表示され、

「しよぞうかん」、「しよぞうばしよ」、「せいきゅうきごう」、「しりょうコード」、「たいしゅつくぶん」、「じょうたい」が確認できる。ただし、「たいしゅつくぶん」では子どもにとって意味が伝わりにくく、「利用可」とされていても分かりづらい。「じょうたい」も「予約準備」や「貸出中」と表記されており、子どもにとって難しい。また、自身も予約したい場合、どうすれば良いか説明書きされていない。なお、新着期間は不明である。

メニュー「にんき」では、ジャンル「児童書」において、貸出上位ベスト8が確認できる。

メニュー「さがす」を選択すると、検索システムへ導かれる¹²。図3は武雄市図書館の「こども資料検索」画面「さがす」である。

図3 武雄市立図書館「こども資料検索」画面「さがす」



検索ボックスは、「タイトル」、「かいたひと」の2つの入力ボックスがある。メニュー「あたらしい」や「にんき」と同様に「タイトル」という項目名は不適切であろう。検索結果では「みつかったほん」と表示している。検索ボックスも同様に「ほんのなまえ」としたい。

また、デフォルトは子ども用資料のみを探索ようになっており、「おとなのほんもさ

がす」のチェックボックスをチェックすれば成人用資料も含めて検索出来るようになる。

タイトルや著者名以外にもキーワード検索も出来るようにすると、子どもたちが資料を探しやすくなるのではないだろうか。

また、この子ども用検索システムは「おとなのほんもさがす」をチェックしないと図書しか検索できず、雑誌や AV 資料の検索が出来ない。今後、図書以外の検索も出来るようにするべきであろう。

検索項目に何も入力せず「さがす」を選択すると、「検索項目は最低 1 つ以上入力してください。」と指示される。振り仮名も無く、これでは子どもには分かりづらい。

検索が成功すると、振り仮名付きで「検索結果」(みつかったほん)と表示され、検索結果の簡易表示が現れる。タイトル部分をクリックすると書誌詳細表示画面へ移動する。ただし、予約機能は見当たらない。

検索結果が 0 件の場合表 1 のように表示される。

表 1 検索結果情報：0 件の場合(武雄市図書館 OPAC)

検索(けんさく)結果(けっか) 0 件見つかりました。 <「さがす」へもどる
--

これはみつかったとは言えない。資料を探すにはどうすればよいのか指示する必要がある。再度検索する場合には、「さがす」へもどる」のアイコンを使用することも出来る。

武雄市の OPAC では、武雄市内の小中学校の学校図書館の所蔵状況も分かる。

蔵書検索のシステムは正規化がされており、拗音・促音・濁音・半濁音は清音化され、長音は省かれる。

より子ども目線で OAPC を考えると検

索の使用方法についての説明書き、困った時にはどうすれば良いのか等のヘルプ画面も必要であろう。

「こどもとしょかん」の導線は、「おしらせ」、「としょかんのつかいかた」、「あたらしい」、「にんき」のサイト内は、「こどもとしょかん」もしくは「前(まえ)のページへもどる」のアイコンを押せば、「こどもとしょかん」のトップページへ戻る事ができる。また、このページの下に、矢印のアイコンがあり、それを押すと前にスクロールされるようになっている。ただし、「さがす」においてのみ「前のページへもどる」および矢印のアイコンが無い。

3. 海老名市立図書館のこども図書館機能

次に海老名市立図書館の「こどもとしょかん」を確認する。海老名市立図書館では、子ども用ウェブサイトの名称を「こどもとしょかん」としており、武雄市図書館と同一である。

図 4 は海老名市立図書館のトップ画面である。

図 4 海老名市立図書館トップ画面



「こどもとしょかん」へのリンクは中央右端にある。武雄市図書館のように絵コンテが無く、文字列のみである。他の文字列に紛れてしまい、子どもにとっては分かりにくいかもしれない。

図5は、海老名市立図書館「こどもとしょかん」のトップ画面である¹³。

図5 海老名市立図書館「こどもとしょかん」のトップ画面



絵コンテとともに「おしらせ」、「イベントあんない」、「としょかんのつかいかた」、「あたらしいほん」、「にんきのほん」、「ほんをさがす」の6つのメニューがある。

武雄市図書館では無かった「ほん」という言葉が書かれている。これにより、あたらしい「本」である、人気の「本」であるということが分かる。

「おしらせ」は利用者への図書館からの広報、「イベントあんない」は館内で行われる行事などの案内、「としょかんのつかいかた」は児童向けの利用案内である。「あたらしいほん」は新着図書案内で、ここで紹介された個々の資料をクリックすると、当該資料の書誌詳細表示と所蔵情報、予約情報を表示できる。「にんきのほん」はジャンル「児童書」において、貸出及び予約上位の図書を紹介している。以下に、それぞれの項目について詳述する。

メニュー「おしらせ」をクリックすると、広報のタイトルと日付が掲載されており、更にクリックすると、内容を読むことができる。内容は漢字を使わず全て平仮名で表記されている。武雄市図書館では、「おしらせ」にイベントの案内が記されていたが、海老名市立図書館では「イベントあんない」を設けている。

メニュー「イベントあんない」では、写真とともに館内で行われるイベントの案内を見ることができる。漢字は使用されておらず、数字、英語(英語を使ったイベント)、以外は平仮名で分かりやすく書かれていた。

対象年齢が決められているワークショップだけは「小学生低学年対象」、「小学生高学年対象」、「中学生対象」と漢字が使用されていた。振り仮名を付ける等の配慮も必要であろう。

また、参加者として保護者も必要な場合、「※パパママといっしょに来てね」と書かれている。「※おうちのひとといっしょに来てね」とすべきかもしれない。

「こどもとしょかん」の「イベントあんない」とは別に、トップ画面からも「イベント」について確認することが出来る。同一のイベントの案内も大人向きに記述されており、工夫が見られる。

メニュー「としょかんのつかいかた」では、「1. しせつのあんない」、「2. としょかんがあいているじかん」、「3. りょうカードのつくりかた」、「4. ほんをかりる」、「5. ほんをかえす」、「6. ほんをさがす」、「7. ほんがないとき(よやくする)」、「8. インターネットをつかう」、「9. ほんをコピーする」、「10. みんなでまもろう」の10項目がある。

漢字を使用せず、分かりやすい文言で記述されている。内容はおおよそ武雄市図書館と同様である。海老名市立図書館は分館があるため、「1. しせつのあんない」ではそれぞれの図書館についての案内が書かれている。「としょかんのあんない」では無く、「しせつのあんない」としているのは、海老名市役所海老名駅連絡所(えび〜にゃハウス)等も含むためであろう。

また、武雄市図書館には無かった「6. ほんをさがす」の項目が増えている。図書館内で資料を探す際にタブレット端末で検索が出来る旨が書かれている。

武雄市図書館と同様にCDやDVDなどのAV資料の貸借について書かれていない。

メニュー「としょかんのつかいかた」の中身の文字には色が付けられておらず、単調である。武雄市図書館の方が見た目に分かりやすく読みやすい。今後の改善を要する。

メニュー「あたらしいほん」では、新着本の紹介をしている。新着図書案内が太字で図書のタイトル（タイトルやほんのなまえ等の表記は無い）と「かいたひと」、「ジャンル」、「じょうたい」が表示（簡易表示）される。タイトル部分をクリックすると、「ほんについて」と書かれた書誌詳細表示へ移動する。

書誌詳細表示では、本の表紙の横にタイトルが表示される。「かいたひと」、「しゅっぱんしゃ」、「しゅっぱんねん」、「ジャンル」、「じょうたい」、「ないよう」、の項目のもとに資料について確認することができる。

また、「ほんがあるばしょ」と書かれた所蔵状況を確認することも出来る。

例えば2冊所蔵されており、予約が無い場合、表2のような記述がされている。

表2 検索結果情報（海老名市立図書館）

<p>2 見つかりました。このほんは、いま0けんのおやくがはいています。</p>
--

そして「しよぞうかん」、「しよぞうばしょ」、「せいきゅうきごう」、「しりょうコード」、「しりょうくぶん」、「たいしゅつくぶん」、「じょうたい」が確認できる。漢字は使用していないものの、この文言では、武雄市図書館同様に子どもにとっては分かりづらい。

例えば、「ほんがあるとしよかん」、「ほんがあるばしょ」、「ほんのばしょのきごう」等の用語の変更、もしくは用語の説明が必要となる。

「じょうたい」では、「かしだしちゅう」や「かしだしできます」と資料の状態が分かるが、武雄市図書館より子ども向きに工

夫されたことが分かる。ただし、成人用には用意されている予約機能が子ども用には無い。予約が出来るようにしておきたい。なお、武雄市図書館同様に、新着期間は不明である。

次にメニュー「にんきのほん」を確認する。「にんきのほん」は、「にんきのほん（かしだし）」と「にんきのほん（よやく）」の2種類がある。「にんきのほん（かしだし）」は貸出上位3位分の資料であり、「にんきのほん（よやく）」は予約数上位8位分の資料が表示された。

最後にメニュー「ほんをさがす」を確認する。図6は、こども資料検索画面「ほんをさがす」である。

図6 海老名市立図書館「こども資料検索」



画面「ほんをさがす」

検索システムのメニューには、「ほんのなまえでさがす」及び「ことばでさがす」の2種類がある。どちらかのメニューを選択すると、検索システムへ導かれる¹⁴。

メニュー「ほんをさがす」部分では、「ほんのなまえ」、「かいたひと」の2つの入力ボックスがある。細かい点であるが、前画面の選択肢では「ほんのなまえでさがす」であったが、ここでは「ほんをさがす」となっている。ユーザー・インターフェイスとして、細かい点にまで配慮を行いたい。なお、「おとなのほんもさがす」のチェックボックスが別途ある。

一方、メニュー「ことばでさがす」のユーザー・インターフェイスは、ユニークである。横4種×7列=28種のイラストが、「どうぶつ」を先頭に並んでいる。イラストをクリックすれば、それに関連する児童書が検索される仕組みである。

なお、武雄市図書館の「こどもとしゃかん」では、「ことばでさがす」は、キーワード入力方式であった。

「ほんをさがす」の検索項目に何も入力せずに、「ほんをさがす」をクリックすると、「なにかけんさくこうもくをいれてください」と表示された。武雄市図書館よりも文言に子ども向きの配慮が見られる。ただし、武雄市図書館と同様に図書のみを検索のため、雑誌、AV資料の検索が出来ない。

デフォルトは子ども用資料のみを探すようになっており、「おとなのほんもさがす」のチェックボックスをチェックすれば成人用資料も含めて検索出来るようになる。

武雄市図書館同様にタイトルや著者名以外にもキーワード検索も出来るようにすると、探しやすくなるのではないだろうか。

検索が成功すると、「けんさくけっか」と表示され、検索結果の簡易表示が現れる。またタイトルをクリックすると詳細表示へ移動する。なお、書誌詳細表示画面以降の問題点はメニュー「あたらしいほん」でも記した通りである。

検索結果が0件の場合には、表3の文言が表示される。

表3 検索結果情報：0件の場合（海老名市立図書館）

ほんがみつかりませんでした
ほんのなまえやかいたひとをかえて、
もういちどさがしてみてください

この表現は、武雄市図書館よりも工夫が見られる。

再度検索する場合には、「もういちどさがす」のアイコンを使用することも出来る。

検索システムは武雄市図書館とは異なり、長音が省かれるのみで、濁音等はそのまま検索される。どちらが子ども用OPACとして効果があるか検討する必要がある。

なお、市内の学校図書館のシステムとは連携はされていない。

「こどもとしゃかん」の導線は、「ほんをさがす」、「あたらしいほん」、「にんきのほん」のサイト内は、左側にあるバナーの「もどる」をクリックすれば前の画面に戻ることができる。しかし、その他のメニューでは、「もどる」のバナーが無い。また、「としゃかんのつかいかた」のようにサイト内が長くなる場合は、途中でトップへ戻れるようにしておく方が便利であろう。

4. 多賀城市立図書館

最後に、多賀城市立図書館の「こどもとしゃかん」を確認する。多賀城市立図書館のウェブサイトは海老名市立図書館のウェブサイトを模したのになっている。多賀城市立図書館では、子ども用ウェブサイトの名称を「キッズライブラリー」としている。

図7は多賀城市立図書館のトップ画面である。

図 7 多賀城市立図書館トップ画面



「キッズライブラリー」へのリンクは中央右端にある。武雄市図書館のように絵コンテが無く、文字列のみである。他の文字列に紛れてしまい、子どもにとっては分かりにくいかもしれない。

また「キッズライブラリー」よりも他の「ツタヤ図書館」で使用している「こどもとしょかん」の方がより子どもに分かりやすいように感じる。

次に「キッズライブラリー」の中身をみていく。

図 8 は多賀城市立図書館「キッズライブラリー」¹⁵⁾のトップ画面である

図 8 多賀城市立図書館「キッズライブラリー」トップ画面



多賀城市立図書館のトップ画面同様に、「キッズライブラリー」も海老名市立図書館の「こどもとしょかん」を模したものになっている。

絵コンテとともに「おしらせ」、「イベント あんない」、「としょかんのつかいかた」、「あたらしいほん」、「にんきのほん」、「ほんをさがす」の6つのメニューがある。

「おしらせ」は利用者への図書館からの広報、「イベント あんない」は館内で行われる行事などの案内、「としょかんのつかいかた」は児童向けの利用案内である。「あたらしいほん」は新着図書案内で、ここで紹介された個々の資料をクリックすると、当該資料の書誌詳細表示と所蔵情報、予約情報を表示できる。「にんきのほん」はジャンル「児童書」において、貸出上位の図書を紹介している。以降に、それぞれの項目について詳述する。

メニュー「おしらせ」をクリックすると、広報のタイトルと日付が掲載されており、更にクリックすると、内容を読むことができる。内容は漢字を使わず全て平仮名で表記されている。武雄市図書館では、「おしらせ」にイベントの案内が記されていたが、多賀城市立図書館では海老名市立図書館と同様に「イベント あんない」を設けている。

メニュー「イベント あんない」では、写真とともに館内で行われるイベントの案内を見ることができる。タイトルに漢字を使用しているものもあるが、内容には漢字は使用されておらず、平仮名とカタカナで分かりやすく書かれていた。

「キッズライブラリー」の「イベント あんない」とは別に、トップ画面からも「イベント」について確認することが出来る。同一のイベントの案内も大人向きに記述されており、工夫が見られる。

メニュー「としょかんのつかいかた」では、「1. としょかんのあんない」、「2. としょかんがあいているじかん」、「3. りようカードをつくるには」、「4. ほんをかりる」、「5. ほんをかえす」、「6. かりているきか

んをのぼす」、「7. ほんをさがす」、「8. ほんをかえせないとき」、「9. ほんをなくしたとき」、「10. ほんをよやくする」、「11. どくしょつうちょう」、「12. ほんについてしらべたいとき」、「13. ほんをコピーする」、「14. からだがふじゆうなひとへ」、「15. キッズライブラリー(こどもとしょかん)」、「16. みんなでまもろう」の16項目がある。武雄市図書館や海老名市立図書館よりも項目が多くなっている。3年間の運営の結果であろうか。延長や紛失、返却日に間に合わなかった場合、障がいがある場合等、必要な項目が増えたことは大いに評価が出来るよう。

また、項目が増え、文章が多くなったためであろうか、途中で「もどる」のアイコンが増えた。

上記のように図書館の利用について16項目が書かれているが、その項目の中身を確認すると、15のあとの数字が20に飛んでしまっているため、早急に修正が必要である。

「4. ほんをかりる」では、雑誌やAV資料の貸借についても記述された。

「6. ほんをさがす」では、「としょかんのなかに、「しらべものをするきかい(けんさくき)」がおいてあります。おうちのパソコンからほんをさがすこともできます。しらべかたがわからないときは、としょかんのひとにきいてください。」という説明になった。海老名市立図書館の「としょかんのなかに、タブレット(けんさくき)」がおいてあります。しらべかたがわからないときは、としょかんのひとにきいてください。」よりも説明が丁寧になっている。

「にんきのほん」を見ると、「にんきのほん(よやく)」と「にんきのほん(かしだし)」の2種類がある。デフォルトが「にんきの

ほん(かしだし)」であり、海老名市立図書館とは逆である。

「にんきのほん(よやく)」では、上位2位までが表示されている。図書館がリニューアルされて日が浅いため2位までなのであろう。「にんきのほん(かしだし)」は上位8位までが表示されていた。

メニュー「あたらしいほん」では新着図書10件の表紙と簡易書誌が確認出来る。表紙写真や簡易書誌のタイトルをクリックすると「ほんについて」という書誌詳細表示へと移動する。

メニュー「ほんをさがす」を見てみると、海老名市立図書館とやはり同じようなデザインの画面へとたどり着く。図9は多賀城市立図書館「キッズ資料検索」画面「ほんをさがす」である。

検索システムのメニューには、「ほんのなまえでさがす」及び「ことばでさがす」の2種類がある。どちらかのメニューを選択すると、検索システムへ導かれる¹⁶。

メニュー「ほんをさがす」部分では、「ほんのなまえ」、「かいたひと」の2つの入力ボックスがある。海老名市立図書館と同様に、前画面の選択肢では「ほんのなまえでさがす」であったが、ここでは「ほんをさがす」となっている。なお、「おとなのほんもさがす」のチェックボックスが別途ある。

一方、メニュー「ことばでさがす」では、横4種×4列+2=18種のイラストが、「どうぶつ」を先頭に並んでいる。イラストをクリックすれば、それに関連する児童書が検索される仕組みである。海老名市立図書館では、28種類の「ことば」が用意されていたが、削減された。

図9は、多賀城市立図書館「キッズ資料検索」画面である。

図9 多賀城市立図書館「キッズ資料検索」画面



海老名市立図書館では、「さかな」としていたものが、「みずのいきもの」と大きな括りになった。また、「いぬ、ねこ、くま、うさぎ、とり、でんしゃ、くるま、ひこうき、ふね、かぞく・ともだち、たんじょうび、うた・おんがく、しごと、ねむり、うんち・おしっこ」がなくなり、「からだ、しょくぶつ、しぜん、ことば、かず」が増えた。ここで、「きせつ」をクリックすると、951冊ヒットする。「はる」は121冊、「なつ」は130冊、「あき」は100冊、「ふゆ」は596冊ヒットした。「きせつ」のジャンルを見ると、「細目」に「きせつ」とあり、次に「仕切」に「クリスマス」と記述されているものがある。項目

「きせつ」は「細目」をもとに表示され、「はる、なつ、あき、ふゆ」では、「仕切」をもとに資料の表示を行っている。項目「ふゆ」の「仕切」は「ふゆ」だけであった。「仕切」を詳細に分けた結果であるが、「クリスマス」も「ふゆ」の項目で表示されるほうが良いのではないだろうか。

「ほんをさがす」の検索項目に何も入力せずに、「ほんをさがす」をクリックすると、海老名市立図書館と同様に「なにかけんさくこうもくをいれてください」と表示された。

また、デフォルトは子ども用資料のみを探そうになっており、「おとなのほんもさがす」のチェックボックスをチェックすれば成人用資料も含めて検索出来るようになる。

検索が成功すると、「けんさくけっか」と表示され、検索結果の簡易表示が現れる。またタイトルをクリックすると詳細表示へ移動する。

「ほんのなまえ」に「こどものとも」と入力し、検索すると、21件がヒットした。一部資料区分が雑誌のものもヒットした。成人用の OPAC でも同様に検索をすると、資料区分が雑誌になっている他の「こどものとも」も含まれる。その差異が不明である。なお、武雄市図書館と同様に図書、雑誌、AV 資料の資料種別による絞り込み検索は出来ない。

検索結果が0件の場合には、表4の文言が表示される。

表4 検索結果情報：0件の場合（多賀城市立図書館）

<p>けんさくけっか ほんがみつかりませんでした ほんのなまえやかいたひとをかえて、 もういちどさがしてみてください</p>

海老名市立図書館と同様の表現である。

そして、再度検索する場合には、「もういちどさがす」のアイコンを使用することも出来る。

検索システムは武雄市図書館とは異なり、長音が省かれるのみで、濁音等はそのまま検索される。

なお、市内の学校図書館のシステムとは連携はされていなかった。

「こどもとしゃかん」の導線は、「ほんをさがす」、「あたらしいほん」、「にんきのほん」のサイト内は、左側にあるバナーの「もどる」をクリックすれば前の画面に戻ることができる。しかし、その他のメニューでは、「もどる」のバナーが無い。他のメニューにも「もどる」のバナーを付けておく方が便利であろう。「としゃかんのつかいかた」では、文章の途中でトップへ戻れるように工夫されていた。

5. まとめ

本稿では、CCC が委託管理者として図書館業務を受託、運営をしている武雄市図書館、海老名市立図書館、多賀城市立図書館の「こどもとしゃかん」検索システムの検証を行った。

CCC デザインカンパニー 図書館カンパニー長兼海老名市立中央図書館 館長の高橋はインタビューで「公共事業は三つ手掛けて実績と認められる。多賀城はわれわれの集大成と位置付け、緊張感を持って臨んでいる。これまでは不適切との指摘があれば、その都度改善すればいいという逃げの気持ちがあった」と述べている¹⁷。また武雄市の受託の際の選書を振り返った「行政手続としては問題ないと、当時から武雄市に言われていますが、武雄市図書館の時、僕たちはド素人でした。一館もやってない状態で、時間がなく、かつ予算もないという特殊な状況の中、2年半運営した経験を積んだ自分たちからすれば、もっと良いことができたのではないかと反省しています」¹⁸という発言も残している。

確かに、こどもとしゃかん機能を検証すると、実務・実績を積み、新たに受託した図書館にそのノウハウが継承されている点は見受けられる。しかし、集大成とされる多賀城市立図書館でも、気の弛みか「としゃかんのあんない」にあったような間違いがあった。また、雑誌も一部検索結果に表示されるが、全てでは無い。

子ども用図書館サイト、OAPC としてまだ十分とは言い難い点も散見される。また、子ども用の学習等に有益な外部リンクやレファレンスサービスについての説明、YA サービスも見受けられない。今後の改善に期待したい。

また、図書館の受託再契約、システムのリプレイス時期まで図書館システムを更新することは難しいかもしれないが、それぞれの「ツタヤ図書館」へ新しいノウハウが還元されていくことを望む。

いずれにせよ、CCC が委託管理者として図書館業務を受託、運営の3図書館が動き出した。

本稿での検討において、図書館システムそのものの手直しに類する、1) 案内メニューやお知らせメニューの変更、2) OPAC 検索システムの手直し、3) OPAC 検索において背後に組み込まれている「ツタヤ分類」の変更の3点が複雑に絡み合っていた。

ネットワーク上で検索をした範囲では、これらの諸変更についての考え方や変更内容の当事者による文献は発見ができなかった。このため、本稿で論じた内容はあくまで、当該3図書館へのインターネットアクセスや、他のネットワーク情報資源での情報の範囲である。なお、これらはいずれも引用文献に記した。

引用文献

1 代表的な批判に次がある。

田井郁久雄「海老名市立中央図書館の問題は何か～図書館と書店、CCC と TRC」『談論風発』Vol.10 No.2, 2015.10, p.1-5.

田井郁久雄「虚像の民営化『ツタヤ図書館』」『世界』No.876, 2015.12, p.196-205. また、『みんなの図書館』466号 2016年2月では「ツタヤ図書館」の特集をしている。合わせて参照されたい。

2 なお、多賀城市は図書館の移転及び運営形態の変更について以下のようにコメントしている。

現在の図書館は、施設が手狭で必要なサービスが提供できないこと、老朽化により利用者にとって優しい空間とはなっていないこと、図書の貸出サービスを中心として整備された施設であり限定的なサービスの提供に偏っていること、さらには立地条件と交通アクセスの課題を抱えていることなどから市民利用率が1割ほどに止まっており、利用者の固定化が払拭できない状況となっています。図書館は、より多くの市民に利用されてこそ、その真価を発揮します。

移転後の図書館は、管理・運営形態とも常に利用者の視点に立ち、来館しやすい環境の整備や居心地の良い場と空間を創出するなど、新たな取組やサービスによって全ての市民に親しまれ利用される施設になることを目指し「本と人との出会い」をテーマに「本と人」をつなぐことで「人と人」をつなぎ、豊かな文化活動の交流拠点として地域社会と市民生活の発展に貢献します。

また、CCCの高橋聡図書館カンパニー長は現地での記者会見で、新図書館の経済効果は年間約50億円と発表している。

河北新報 3月21日(月)10時11分配信

http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201603/20160321_12023.html [確認: 2016.03.27]

3 「TSUTAYA 図書館は何を目指すのか? CCCの責任者が語る現状と『未来』」2015年11月12日『HUFF POST Society』

<http://www.huffingtonpost.jp> [確認: 2016.03.27]

同記事は、2015年11月11日、横浜市で開催された第17回図書館総合展のフォーラムでのCCCの図書館カンパニー長の高橋聡氏の発言である。

なお、フォーラムの記録動画は、次を参照。

<http://www.libraryfair.jp/forum/2015/1852> [確認: 2016.03.27]

4 『週刊東洋経済』2015.10.31号, p.42-43.

なお、TSUTAYA書店グループは、リアル書店では国内最大手であり、2015年3月決算では、約1,200億円の売り上げがある(『週刊東洋経済』2015.10.31号, p.39)。

5 川瀬綾子、北克一「「ツタヤ図書館」の資料区分を検証する その2 -武雄市図書館、海老名市図書館の「こどもとしょかん」検索システムにおけるジャンル(カテゴリー)設定を手掛かりに-」『資料組織化研究-e』No.68, 2016.3. [掲載予定]

<http://techser.info/>

6 森美由紀、川瀬綾子、北克一「近畿地方2府4県の公立図書館における「こどもとしょかん」機能の評価」『情報学』13(1) 2016.3 [掲載予定]

<http://kiyo.info.gsucc.osaka-cu.ac.jp/JI/index>

7 武雄市図書館

<https://www.epochal.city.takeo.lg.jp/winj/opac/top.do> [確認: 2016.03.27]

8 海老名市立図書館

<https://ebina.city-library.jp/library/ja> [確認: 2016.03.27]

9 多賀城市立図書館

<https://tagajo.city-library.jp/library/ja> [確認: 2016.03.27]

10 海老名市立図書館は複数館で構成されている。OPACと図書館全体での共通システムでは、海老名市立図書館と表記し、委託対象の中央図書館については海老名市立中央図書館と表記した。

11 武雄市図書館「こども図書館」

<https://www.epochal.city.takeo.lg.jp/winj/opac/top-kids.do?lang=ja>

[確認: 2016.03.27]

12 「ことばでさがす」

<https://www.epochal.city.takeo.lg.jp/winj/>

opac/search-detail-kids.do?forward=search
hback [確認：2016.03.27]

13 海老名市立図書館「こどもとしょかん」
[https://ebina.city-library.jp/library/ja/kids
_menu](https://ebina.city-library.jp/library/ja/kids_menu) [確認：2016.03.27]

14 「ほんのなまえでさがす」、「ことばでさ
がす」

[https://ebina.city-library.jp/library/ja/kids
/search/input](https://ebina.city-library.jp/library/ja/kids/search/input) [確認：2016.03.27]

15 多賀城市立図書館「キッズライブラリー」
[https://tagajo.city-library.jp/library/ja/kid
s_menu](https://tagajo.city-library.jp/library/ja/kids_menu) [[確認：2016.03.27]

16 「ほんのなまえでさがす」、「ことばでさ
がす」

[https://tagajo.city-library.jp/library/ja/kid
s/search/input](https://tagajo.city-library.jp/library/ja/kids/search/input) [確認：2016.03.27]

17 河北新報「<ツタヤ図書館>高め合う学
びの場に CCC 図書館カンパニー長・高橋
聡氏に聞く」

[http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201
603/20160320_15010.html](http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201603/20160320_15010.html)

[確認：2016.03.27]

18 「武雄市図書館の時はド素人でした」 海
老名市でオープンした 2 館目の TSUTAYA
図書館は何が違う？ [by] Chika Igaya

投稿日：2015 年 09 月 30 日 22 時 34 分 JST

更新：2015 年 10 月 06 日 19 時 05 分 JST

[http://www.huffingtonpost.jp/2015/09/30/
ebinashi-takeoshi_n_8220202.html](http://www.huffingtonpost.jp/2015/09/30/ebinashi-takeoshi_n_8220202.html)

[確認：2016.03.27]